

# 東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2025年

9月号

Vol.72 No.841

## 巻頭言

暑さ厳しい季節 関 真一

## 会 告

日本診療放射線技師会 永年勤続表彰について  
SRTA学術大会演題募集要項  
2025年度城北支部研修会

## お知らせ

親睦BBQ大会のお知らせ

## 報 告

2025SRTA学術大会報告

研修会等申込書



公益社団法人東京都診療放射線技師会  
<https://www.tart.jp/>

X線CT装置

**NAEOTOM Alpha  
with Quantum Technology**

# CT redefined.

[www.siemens-healthineers.com/jp](http://www.siemens-healthineers.com/jp)

The world's first photon-counting CT

イノベーションにより技術が飛躍的に進歩すると、常識が変化することがあります。

世界初\*のフォトンカウンティングCTの登場はまさにその瞬間と言えます。

フォトンカウンティング検出器を採用したNAEOTOM Alphaは、CTの定義を一新しました。

QuantaMax detectorは先進的な直接信号変換をベースとして開発されており、

より多角的に臨床情報を得ることが可能になります。

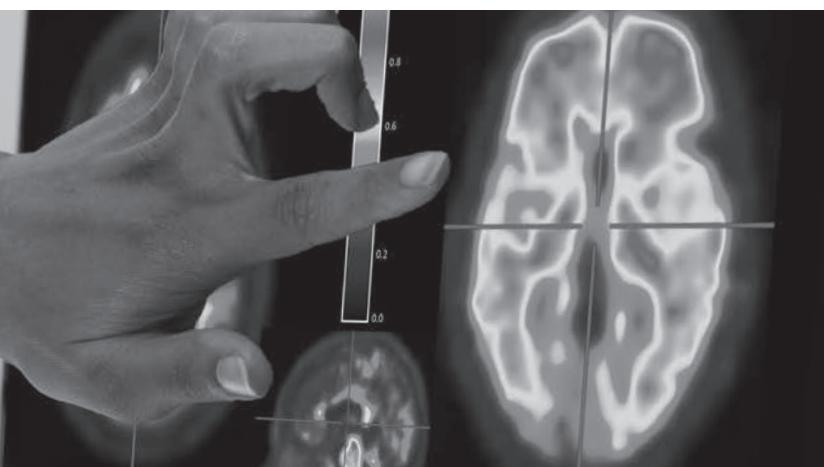
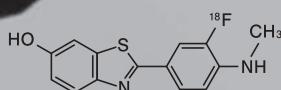
\*2022年2月 自社調べ



**SIEMENS**  
Healthineers

全身用X線CT診断装置 ネオトム Alpha 認証番号: 304AIBZX00004000

nihon  
**medi+physics**



放射性医薬品・脳疾患診断薬

薬価基準収載

処方箋医薬品<sup>注</sup>

# ビザミル<sup>®</sup> 静注

放射性医薬品基準フルテマモル (<sup>18</sup>F) 注射液

®:登録商標

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。

製造販売元

**日本メジフィジックス株式会社**

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

文献請求先及び問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトで  
PET検査について紹介しています。

<https://www.nmp.co.jp>

2024年8月改訂

目 次

# スローガン

チーム医療を推進し、

国民及び世界に貢献する

診療放射線技師の育成

診療放射線技師業務標準化宣言 .....	2
巻頭言 暑さ厳しい季節 .....	副会長 関 真一 3
会告1 第20回ペイシェントケア学術大会（演題募集） .....	学術委員会 4
会告2 第162回日暮里塾ワンコインセミナー .....	教育委員会 5
会告3 日本診療放射線技師会 永年勤続表彰について .....	涉外委員会 6
会告4 SRTA学術大会演題募集要項 .....	国際委員会 7
会告5 2025年度城北支部研修会 .....	城北支部委員会 8
お知らせ1 2025年度第5地区研修会 .....	第5地区委員会 9
お知らせ2 2025年度第2地区研修会 .....	第2地区委員会 10
お知らせ3 親睦BBQ大会のお知らせ .....	厚生調査委員会 11
報告 2025SRTA学術大会報告 .....	12
パイプライン	
・日本診療放射線技師連盟ニュース（2025 No.6） .....	23
・日本放射線公衆安全学会 アンケート協力依頼のご案内 .....	24
2025年4月～6月期会員動向 .....	25
2025年度第3回理事会報告 .....	26
2025年度第4回理事会報告 .....	29
研修会等申込書 .....	35

Column & Information

・求人情報 .....	25
・東放見聞録 .....	32
・学術講演会・研修会等の開催予定 .....	33
・東放技入会無料のお知らせ .....	34

# 診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
  - ～患者識別
  - ～事故防止
  - ～感染防止
  - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

# 卷頭言



## 暑さ厳しい季節

副会長 関 真一

残暑お見舞い申し上げます、会員の皆さんお元気でお過ごしでしょうか。毎日のテレビや新聞では、今年の猛烈な暑さを報じており、最近は、日本のどこかで毎日40度を超える場所が出てきています。8月に入り、夏休みでどんな過ごし方をしているのでしょうか？ ニュースでは水不足も報じられています。さらに、この暑さで多くの方々が熱中症で病院に搬送されているようです。

昨年同様、2025年も各地で連日、最高気温35℃以上の猛暑日が続いています。6月以降、猛暑日を観測した地点の累積地点数は、記録的な高温となった、昨年や2023年や2018年をすでに上回っています。今夏は春まで続いたエルニーニョ現象の名残の影響で、各地で梅雨入りが遅れ、短い梅雨期間でも降水量が多くなりました。梅雨期間も含め今夏も気温が高く、梅雨明け以降は各地で猛暑となっています。7月の日本の月平均気温は観測史上最も高くなりました。8月も暑さは続いており、猛暑日（最高気温35℃以上）が多くなっており、国内最長記録を更新しています。今年は安定した夏空が続かず、不安定でゲリラ雷雨が多くなっています。このような急な雷雨の一因として、夏の暑さをもたらす太平洋高気圧の勢力が、南の海上を中心に強いことが挙げられます。日本の南の海上で太平洋高気圧が平年より張り出していることで、気温が上昇しやすいとともに、太平洋高気圧のへりを沿うようにして湿った空気が日本列島に流れ込みやすく、雨や雷雨が頻発する原因となっています。この先は、ラニーニャ現象の発生によって、厳しい残暑が予想されます。暑さ寒さも彼岸までといいますが、9月中もまだまだ30度を超える真夏日を記録するところが多く、秋の到来は平年よりひと月ほど遅れることでしょう。

さて、夏の楽しみは何といっても家族で水遊びでしょう。しかし、7月下旬のカムチャッカ半島沖の大地震による津波や、台風の接近によって海水浴もできず、水不足のためプールが閉鎖される地域も出ているようです。地震は少なからず私たちを不安にさせます。いつ同じような大地震が日本近海で起こるだろうか…と。また、台風も続けて幾つもやってきました。今年は台風も多いのでしょうか…。夏恒例の各地での花火大会の様子も報じられ、たくさんの人々がきれいな花火を堪能したようです。しかし、花火大会における火災事故も報じられています。この暑さ厳しい季節に体調を崩さぬようにお互いに気を付けて楽しみましょう。

先日、ある報道で生徒会スローガンが『チャレンジ』というものがありました。

チャレンジについて改めて考えてみると、それは決して「うまくやること」ではないと思います。うまくいくかどうか分からなくても、「やってみよう」と思える心。失敗してもいい、時間がかかるてもいい、まちがえてもいい。「やってみよう」と一歩をふみ出すことが大切なのではないでしょうか。その一歩には、必ず成長の種がつまっています。これから診療放射線技師は、チャレンジの連続でしょう。勉強や運動だけでなく、友だとの関わりや新しい役割への挑戦も、すべてがチャレンジです。時には失敗したり、悔しい思いをしたりすることもあるでしょう。けれども、そうした経験こそが、自分自身を大きく成長させてくれます。私は、長い休みを取りませんでしたが、少し休みが取れたらいいとも思っています。しかし、なかなかうまくタイミングが合いません。これからは、今までと違った何かに取り組むことにチャレンジできればと思います。

技師会では、コロナ禍において事業の縮小が続いていましたが、昨年度からは、事業活動が非常に活発になりました。総会資料でもお分かりのように収支では赤字になりました。皆さんに会費をお願いしているのに少し想定を超えての活動となりました。これもチャレンジの連続だったと思っております。各委員会において対策を工夫して、事業活動を停滞せず、会員に負担を求めずに邁進していく決意をしています。

9月に入り少しづつ日暮れの時間が早くなり、秋の気配を感じる頃になりました。皆さま猛暑の疲れがたまつていませんか。これからも皆さん元気に過ごされますように祈ります。

# 会 告

## 1

# 第20回ペイシェントケア学術大会（演題募集）

## テーマ「つながり、支え合う医療を目指して」

第20回ペイシェントケア学術大会も一般演題を募集いたします。

発表は口述のみとし、ペイシェントケアに係わる演題だけでなく研究、教育、症例報告、日常業務報告など、内容は広く募集したいと考えております。

プログラムについては決まり次第、会誌及びホームページに掲載させていただきます。

### 記

#### 【開催内容】

日 時：2026年2月28日（土）10時00分～17時00分（一般演題発表10時00分～12時00分予定）

場 所：一橋大学一橋講堂 中会議室

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内

開催方式：会場開催

#### 【演題登録要項】

発 表 表：口述発表のみ 発表時間7分・討論3分 時間を厳守してください

発表者：応募時点で日本診療放射線技師会の会員かつ2024年度会費完納者に限ります

共同演者：6名まで（非会員でも氏名記載可）

演題名：文字数制限なし

抄録本文：400文字以内

締め切り：2025年9月6日（土）9時00分

演題登録：下記URLもしくは右記QRコードより登録

<https://forms.gle/fk3UwrB4c5d5b1cH9>



ポイント付与：日本診療放射線技師会のポイント付与はございません。

その他の臨床データを使用する場合は、研究倫理規程に準拠していただき、応募演題に必要な倫理的対応について理解し、必要に応じて倫理審査委員会で承認を得てご発表をお願い致します。

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail : gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

# 会 告

## 2

### 第162回日暮里塾ワンコインセミナー（Web開催） テーマ「液体ヘリウムをまったく使わない1.5TMRIのご紹介」

講師：富士フィルムメディカル株式会社 営業本部 東京支社 MSセンター 吉村 晃太 氏

MRI装置の稼働には液体ヘリウムは必須であることは周知のとおりと思いますが、技術革新の進歩でしょうか。液体ヘリウムを使用しないで撮影ができる時代が到来しております。今回は「液体ヘリウムをまったく使わない1.5TMRIのご紹介」と題して、最新の情報をお届けしたいと思います。

多くの方の参加をお待ちしております。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

#### 記

日 時：2025年9月18日（木）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：100名（先着順）

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、

または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年9月17日（水）

問い合わせ：教育委員会 E-Mail：[kyoiku@tart.jp](mailto:kyoiku@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



# 会 告

## 3

# 日本診療放射線技師会 永年勤続表彰について

渉外委員会

日本診療放射線技師会より本会に対し、標記について永年勤続表彰候補者の推薦依頼がありました。  
下記に該当する会員で2025年9月12日までに本会から連絡がない方、または前年度までに資格に到達された会員で受賞の意思のある方は、お手数ですが2025年9月26日までに下記問い合わせ先までご連絡いただければ幸甚に存じます。

### 資格要件

#### 【勤続30年表彰】

1. 2026年3月31日現在において放射線関連業務に従事して勤続30年以上であること（診療放射線技師又は診療エックス線技師免許取得が1996年（平成8年）3月31日以前の方）
2. 2012年3月31日（2011年度）以前までに入会し引き続き日本診療放射線技師会会員であること（15年以上継続会員）

#### 【勤続50年表彰】

1. 勤続30年表彰を受けたのち、10年以上継続して日本診療放射線技師会会員であること
2. 診療放射線技師又は診療エックス線技師免許取得後50年を経過した者（診療放射線技師又は診療エックス線技師免許取得が1976年（昭和51年）3月31日以前の方）

### 留意事項

1. 推薦の時点で2025年度の会費を完納していることが必要です。
2. 勤続年数の審査は、提出書類に基づき行われます。書類に記載されていない勤務歴情報は勤務年数としてカウントされませんので、記入漏れには十分ご注意ください。
3. 表彰式は、2026年度の日本診療放射線技師学術大会にて執り行われる予定です。

### 提出書類

勤続30年表彰：返信用紙（受賞の意思にかかわらず全員提出）、履歴書（様式5号）

勤続50年表彰：返信用紙（受賞の意思にかかわらず全員提出）

### 提出期限

2025年9月26日（金） 必着

問い合わせ：渉外委員長 高野修彰 E-Mail：[shougai@tart.jp](mailto:shougai@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

## ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について (東京都診療放射線技師会助成演題)

公益社団法人東京都診療放射線技師会（以下、本会という）では、ソウル特別市放射線士会（SRTA）との学術交流協定に基づき、下記の日程で開催される学術大会で研究発表を行う会員に対して渡航費および滞在費の一部を助成します。

この制度の利用を希望する会員は奮ってのご応募をお待ち申し上げます。

学 会 名 :	2026年ソウル特別市放射線士会学術大会 (SRTA)
開催期間 :	2026年3月19日(木)～22日(日) (International session : 3月21日予定)
会 場 :	大韓民国ソウル市・COEX (ソウル特別市 江南区三成洞159貿易センターCOEX)

### 【1】発表形式および使用言語等

- ① 英語による口述発表とします
- ② スライドもすべて英語表記とします
- ③ スライド原稿は原則事前提出とします（期限は演題採用決定後通知）

### 【2】応募資格

本会の会員で、2025年度会費完納者に限ります。

### 【3】募集演題数

2題（予定）

応募演題の中から学術委員会または国際委員会にて審査の上、理事会で承認し決定します。

### 【4】応募方法および期限

応募演題抄録を2025年10月15日(水) 24時00分までにメールにて添付送信してください。

※応募演題抄録について

図表なしで、題名、演者名、所属施設、目的・方法・結果・考察を和文および英文で作成し、A4サイズ横書き各1枚で作成してください。なお、英文原稿については、各自で投稿前に英文校正会社やnative speakerによるチェックをお願いします。

### 【5】演題採用後の処遇について

演題が採用された方の参加登録・渡航・宿泊の各手配および費用清算は本会が行います。

原則として本会同行者とともに同一行動とし、SRTAとの国際交流をしていただきます。

### 【6】送信先（お問い合わせ）

E-mail : [kokusai@tart.jp](mailto:kokusai@tart.jp)

メールタイトルを「SRTA学術大会演題応募」とご記載ください。

以上

# 会 告

## 5

### 2025年度 城北支部研修会（ハイブリッド開催）

#### 感情コントロールと上手な伝え方を学ぼう ～アンガーマネジメント&アサーティブコミュニケーションについて～

講師：上尾中央総合病院 小川 智久 氏

みなさんは、自分の意見や感情を相手に強く押し付けたり、相手の気持ちを尊重せず、自分の意見を一方的に主張したりしていませんか？上司に意見を伝える時、同僚に相談する時、部下に指示を出す時、もつとうまく伝えられたらいいのにななど、思ったことはありませんか？

2025年度の城北支部研修会は、上尾中央総合病院の小川智久先生を講師にお迎えして、アンガーマネジメントと、アサーティブコミュニケーションのスキルについてご講演いただきます。アンガーマネジメントとは、決して怒らないようにしようとする事を目指すものではありません。怒りのメカニズムを理解することで、怒りの気持ちをコントロールしやすくなります。相手の気持ちを尊重し、お互いの意見を尊重したコミュニケーションを心がけるようにすれば、職場のコミュニケーションが円滑になり、居心地の良い職場を作る事ができるようになります。アサーティブコミュニケーションは、仕事場だけではなく、日常生活においても役立つコミュニケーションスキルです。自己肯定感も高める事ができるこのスキルと一緒に学んで、良好な人間関係を築きましょう。みなさまのご参加をお待ちしております。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。  
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

#### 記

- 日 時：2025年10月24日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時45分～）  
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター  
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505  
ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分  
開 催 方 式：ハイブリッド開催（Zoom）  
定 員：現地参加20名・Web参加80名（先着順）  
受 講 料：無 料  
申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、  
または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。  
申込締切日：2025年10月20日（月）（HPの申し込み停止は、締め切り日の翌日以降になります）  
問い合わせ：城北支部委員会 E-Mail：[shibu\\_jyouhoku@tart.jp](mailto:shibu_jyouhoku@tart.jp)  
第5地区委員長 北野りえ  
第6地区委員長 伊佐理嘉  
第16地区委員長（城北支部委員長） 関谷 薫  
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

## 2025年度 第5地区研修会（ハイブリッド開催）

テーマ「整形外科領域における荷重位のX線撮影について  
～立位撮影の重要性を考えさせる脊椎編～」

講 師：滋慶医療科学大学大学院 医療安全学研究科 安藤 英次 氏

今年度も毎年好評を頂いております第5地区研修会を開催致します。この研修会は、演者と皆様が活発に議論することにより、知識を深めることを趣旨とした勉強会です。

今回のテーマは、「整形外科領域における荷重位のX線撮影について～立位撮影の重要性を考えさせる脊椎編～」です。超高齢化社会である現在、様々な疾患を抱えている方がいらっしゃいます。整形外科領域における一般撮影では臥位撮影が基本肢位として主流でしたが、近年、立位撮影が重要視されています。CTやMRIにおける立位撮影については確立されたものが少ないですが、一般撮影では確立された立位撮影が多数存在します。

ぜひこの研修会を聴講頂き、明日からの仕事へとお役立て頂ければ幸いでございます。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。  
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

### 記

日 時：2025年9月5日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

開 催 方 式：ハイブリッド開催（Zoom）

定 員：現地20名（先着順）、Web50名（先着順）

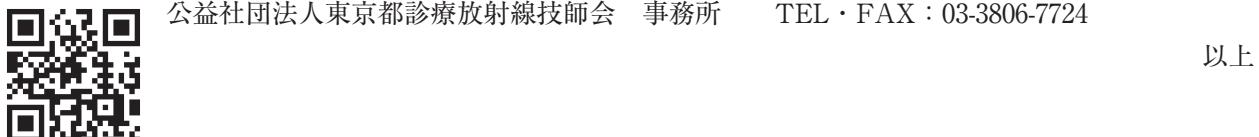
受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、  
または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年8月31日（日）

問い合わせ：第5地区委員長 東京科学大学病院 北野りえ E-Mail：[area05@tart.jp](mailto:area05@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724



以上

# お知らせ

## 2

### 2025年度 第2地区研修会（Web開催）

テーマ「当直時に役立つ画像を提供するために必要なこと＆一般撮影で動態撮影!?」

講 師：国立がん研究センター中央病院 鳥居 純 氏（第2地区委員）  
コニカミノルタジャパン株式会社 伊藤 亮輔 氏

当直時に役立つ画像を提供するには、ただ撮るだけでなく「何が求められているのか」を理解することが大切です。これを知っているだけで、診療放射線技師としてもう一歩先へ進めます！

また動態撮影は、一般撮影の新しい可能性を広げる技術です。静止画だけでは見えなかった情報を捉えることで、診断の精度向上に貢献できるかもしれません。

新人の皆さんが現場で即戦力になれるよう、工夫やポイントを分かりやすく解説！日々の業務がちょっと楽しくなるようなヒントも交えながら、一緒に学んでいきましょう！

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。  
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

#### 記

日 時：2025年9月9日（火）19時00分～20時00分（受付開始18時40分～）

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：50名（先着順）

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、  
または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年8月29日（金）

問い合わせ：第2地区委員長 島田 諭 E-Mail：[area02@tart.jp](mailto:area02@tart.jp)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



# お知らせ 3

## 親睦BBQ大会のお知らせ

毎年の地区対抗親睦ボウリング大会にかわり、今年は親睦BBQ大会を開催します。池袋のビルに囲まれて肉を焼きましょう！

日 時：2025年9月28日（日）11時00分～13時00分（10時50分受付開始）  
会 場：池袋楽園タウンの庭（東京都豊島区南池袋1丁目24-5 楽園タウン池袋 屋上）  
ア ク セ ス：JR池袋駅東口を出て徒歩すぐ  
参 加 費：5,240円（飲み放題）  
定 員：50名（先着順）  
参加申込期間：8月1日～9月12日

店舗HP：<https://ikebukuro-rakuen-bbq.com/>

参加申込URL：[https://eventpay.jp/event\\_info/?shop\\_code=3967236673917779&EventCode=P256280465](https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=3967236673917779&EventCode=P256280465)

- ※ 食材・飲み物の持ち込みはできません
- ※ 荒天時、参加者が少數など中止になる場合があります（参加費は返金されます）
- ※ 振込にかかるシステム手数料はご負担をお願いします
- ※ キャンセル等の返金時のシステム手数料はご負担をお願いします
- ※ 9月12日以降のキャンセルでは参加費は返金されません
- ※ 非会員でも参加可能（家族、子供は参加できません）
- ※ 待合場所がないため10:50以降の楽園タウン池袋へのご入館にご協力をお願いします



参加申込QR

# ～2025 KIMES & Seoul Radiological Technologists Association 59th International Conference～

## 大会参加報告

### 2025 KIMES & Seoul Radiological Technologists Association 59th International Conference インターナショナルセッション参加報告

桐 洋介

東京都診療放射線技師会 国際委員長 順天堂大学医学部附属練馬病院

2025年3月20日から23日にかけて、韓国・ソウルのCOEXで開催された「2025 KIMES & Seoul Radiological Technologists Association 59th International Conference」への参加についてご報告致します。

本事業は、東京都診療放射線技師会(以下、TART)とソウル特別市放射線士会(以下、SRTA)との間で締結されている学術交流協定に基づき、本事業の一環としてインターナショナルセッションへ参加いたしました。SRTAとの学術交流はコロナ禍を経て2023年11月より再開され、昨年度も同大会に参加しました。また、SRTAからもペイシエントケア学術大会や関東甲信越診療放射線技師学術大会に来日・参加していただいております。

今回の大会には、TARTから2名の発表者を含む計7名が渡韓しました。一行は、インターナショナルセッション前々日の20日夕刻に仁川空港へ到着。SRTA国際委員のメンバーが空港まで迎えに来てく

ださり、タクシーでホテルまで案内していただきました。仁川空港からソウル市内までは通常1時間ほどですが、渋滞の影響で予定より遅れての到着となりました。運転手によれば、帰宅ラッシュに加え、昨今の内政問題に起因するデモ関係者や報道関係者の影響とのことでした。しかし、車窓からは日常生活が見られ、報道されていたような過激なデモ等は見受けられず、渡韓前の不安は杞憂に終わりました。

ホテル到着後すぐに歓迎会会場へ向かいました。今回はTARTのみならず、滋賀・大阪・兵庫・奈良・和歌山・神奈川、そして台湾からの参加もあり、50名以上が集まる盛大な歓迎会となりました。当初はぎこちない挨拶程度でしたが、会が進むにつれて英語・韓国語・日本語・中国語が飛び交い、ジェスチャーを交えながら笑顔で交流する光景は、まさに国際交流の場であり、旅の疲れも忘れるほど有意義な時間となりました。会の終盤にはSRTAとの記念品交換式と会長挨拶が行われ、関係団体の友好が改めて確

認されました。

翌21日午前中は、SRTAの案内で韓国の伝統衣装を着用し、朝鮮王朝の王宮である景福宮を見学。その後、韓国国内でも人気のタッカンマリ専門店や伝統茶の試飲などを体験し、衣食住を通じて韓国文化に触れることができました。筆者個人の考え方として、こうした文化研修や移動中の会話から、風習や価値観を学ぶことは、海外の発表内容やスライド作成方法、医療業界の背景を理解する貴重な機会であると感じました。

22日は朝から大会会場であるCOEXへバスで移動。本大会では機器展示と学術大会が同時に開催されており、多くの参加者で賑わっていました。まず全員で大手メーカーの機器展示ブースを見学。日本未発売の機器も多く、最新技術についての知識を深めることができました。続いてインターナショナルセッションへ移動。今回は14演題が登録され、1時間30分にわたるセッションで、全発表終了後に発表者全員が登壇し、質疑応答が行われる形式でした。本会からは、塩見貴里乃氏（順天堂大学医学部附属順天堂医院）と加藤紀美氏（順天堂大学医学部附属練馬病院）の2名が発表。塩見氏はDual Energy CTの画像特性と臨床応用について検討を行い、初めての発表ながらも海外生活経験を活かし、流暢な英語でしっかりとプレゼンテーションを行いました。加藤氏も緊張しながらも堂々と発表を行い、両氏とも質疑応答にも的確に対応し、非常に充実したセッションとなりました。



韓国および台湾からは医療安全や実験器具の開発、画像再構成に関する報告などがあり、特に3Dプリンタを用いたファントム作成とその評価に関する発表には大変驚かされました。私たちもAIやバーチャル技術の医療応用をさらに追求し、安全かつ確実な医療提供を目指して努力していく必要性を強く感じました。

セッション終了後にはパク大会長より発表証明書の授与と記念撮影が行われ、続いてTART江田会長らも登壇し祝辞を述べられました。韓国の大大会は非常に華やかで、登壇時にはBGMが流れ、発表者がスライドと共に大画面に映し出される演出も印象的でした。また、次回大会のプロモーション映像が盛大に披露されるなど、多くの関係者から注目されていることが実感できる規模と熱量のあるイベントでした。

会終了後の懇親会では、発表を終えた安堵感もあって、和やかな雰囲気の中で盛り上がりました。そして、SRTAの皆さまとは、2025年7月5日（土）に横浜で開催される「関東甲信越診療放射線技師学術大会 インターナショナルセッション」での再会を約束しました。

今回のSRTA学術大会を通じて、本事業が国際的な発表経験と広い知見を得られる非常に貴重な機会であることを再認識致しました。今後も本事業が継続され、より多くの会員の皆さまにその存在を知っていただいくとともに、国際発表に興味のある皆さまの積極的なご参加を心よりお待ちしております。



# 2025KIMES&ソウル特別市放射線士会学術大会印象記

菊池 悟

東京都診療放射線技師会国際委員 東京医科大学八王子医療センター

2025年3月20日（木）から23日（日）に開催された2025KIMES & ソウル特別市放射線士会学術大会にTART国際委員として参加させていただきましたので印象記を報告致します。本大会には私のほかに、江田会長をはじめ関副会長、桐国際委員長、内藤国際委員、演者2名の計7名で参加しました。

1日目は、成田空港から仁川国際空港へ到着し、その後、ホテルでの歓迎レセプションとなりました。SRTAパク大会長をはじめ大勢の現地関係者の方々に熱烈な歓迎を受け、終わる頃には両手に抱えきれないほどのギフトを頂きました。

2日目は、文化研修として韓国伝統衣装のチマチョゴリに着替え、国宝の「勤政殿」を見学しました。勤政殿の勤政というのは「世の中の事柄は勤しむとうまくできる」という意味があるそうです。「韓国と日本は勤しむとさらに友好関係が深まる」というメッセージが込められていたのではないかと思います。また、韓国伝統のお茶であるナツメ茶（デチュチャ）を試飲しながら韓国の文化と歴史に思いを巡らせました。

3日目は、2025KIMES & ソウル特別市放射線士会学術大会のインターナショナルセッションに参加しました。参加国は、韓国、台湾、日本で英語による口述発表形式にて行われました。演題数は14演題でTARTからは国際委員会により選考された2演題の発表を行いました。TARTから参加の2名は緊張した面持ちながらも堂々と自信に溢れ、素晴らしい英語でのスピーチをされていました。

た。この日までの惜しみない努力と熱意が存分に發揮され、報われた瞬間を目の当たりにしました。

当セッションにおいて全般的に感じたことは、スライドの構成やデザインが大変見やすいということです。国際学会向けに創意工夫されていることは聴衆への思いやりと尊敬の念を強く感じました。

夕方には訪韓最終懇親会となりました。全ての任務を全うした安堵感から、終始リラックスムードで笑いの絶えない宴となりました。

最終日はバスにてホテルから空港へお見送りを行っていただき、今年7月に横浜市で開催される関東甲信越診療放射線技師学術大会での再会を誓いました。

最後に本大会参加にあたりご尽力をいただきました江田会長をはじめとする執行役員の皆さま、国際委員の皆さま、そして国際舞台で活躍された演者の方々に最大の感謝と敬意を表します。



# Radiological technologists' approach to intravenous catheterization ~Task shift/share due to legal reform~

○Norimi Kato<sup>1)</sup>, Yosuke Kiri<sup>1)</sup>, Nozomi Hamasaki<sup>1)</sup>, Kazuhiko Doryo<sup>1)</sup>

1) Department of Radiology, Juntendo University Nerima Hospital

## Abstract

With the amendment of the Medical Radiological Technologists Act in 2021, medical radiological technologists are now allowed to perform some of the tasks that doctors used to perform. These are only permitted for those who have taken the basic training (e-learning) and practical training organized by the Japan Association of Medical Radiological Technologists. However, it is believed that many staff members feel uneasy about performing new tasks with little knowledge and experience. Therefore, we have begun an initiative to perform intravenous catheterization work safely and securely, and we report on this.

We established a working group to promote intravenous catheterization. We created regulations regarding intravenous catheterization based on the Task Shift/Share Guidelines established by the Japan Radiological Society. We also created a contact manual for when problems occur. We also created an in-hospital training program based on the in-hospital intravenous catheterization certified nurse education. We asked radiological technologists to evaluate these manuals on a 10-point scale.

We surveyed the attendance rate of radiological technologists in basic training and practical training programs. We also asked them to rate their motivation and anxiety regarding intravenous catheterization on a 10-point scale. We compared the results before and after the in-hospital training.

10 was the highest rating for regulations, communication manuals, and training programs. The attendance rate of basic training was 83%, and the attendance rate of practical training was 54%. The most frequent score for the level of motivation prior to in-hospital training was 6, and the most frequent score for the level of anxiety was 10.

It is believed that by improving the environment, staff understanding deepened, and all manuals were highly rated. However, it was difficult to evaluate some parts due to lack of experience in intravenous catheterization. It is thought that the attendance rate of practical training was low because the application rate for the seminar in Tokyo was high. It is thought that the change in anxiety level was smaller than the enthusiasm level because the number of training sessions was small.

The initiative to perform intravenous catheterization was useful. In the early stages of implementation, anxiety levels can be reduced by starting with tests that do not involve rapid injection, such as nuclear medicine examination.

## 背景

医師の長時間労働の是正のため、2024年4月に医師の働き方改革が行われた。この改革に先立ち2021年に診療放射線技師法の一部が改正された。これにより医師が行っていた業務の一部に対し診療放射線技師が代わりにその業務を行うことが認められた。これらは日本診療放射線技師会が主催する告示研修（基礎研修（e-Learning）と実技研修）を修了した者のみが認められる。

一部業務を診療放射線技師が行うことにより医師の労働時間を見直すだけでなく、円滑な医療提供や医療費の削減にもつながると言われ、人件費が34%削減されたとの報告もある<sup>1)</sup>。しかし、知識や経験が少ない中で新しい業務を行うことに不安を感じるスタッフも多いと考えられる。

## 目的

静脈路確保業務を導入するにあたり、安心・安全に行うための環境整備、スタッフの心理状態の把握と変化を評価したので報告する。

## 方法

1. 診療放射線技師による静脈路確保業務を院内に導入することを目的としたワーキンググループを立ち上げた。日本医学放射線学会が策定したタスク・シフト/シェア ガイドライン集を参考にして、静脈路確保に関する規定を作成した。また、静脈路確保の際の神経損傷対応などの核医学検査室緊急時対応フローを作成した。さらに静脈穿刺院内認定看護師教育を参考にした診療放射線技師向けの院内トレーニングプログラムを作成した。3つのマニュアルは当院の医療安全管理会議にて承認を得た。これらのマニュアルの理解しやすさを当院の診療放射線技師24名に10段階で評価してもらった。
2. 当院の診療放射線技師24名の告示研修受講率を調べた。また、静脈路確保に対する積極度や不安度などを10段階で評価してもらい、院内トレーニング実施前後で比較した。

## 結果

1. 規定、核医学検査室緊急時対応フロー、トレーニングプログラムについての評価は全てにおいて10点が最も多く、次に8点が多かった。（Fig.1-3）

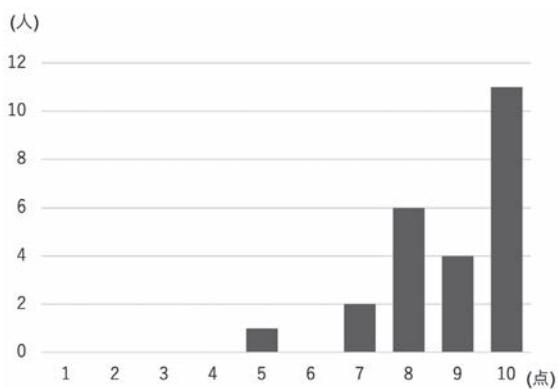


Fig.1 規定の10段階評価

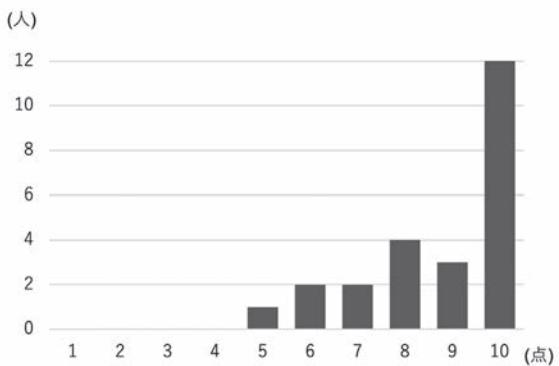


Fig.2 緊急時対応フローの10段階評価

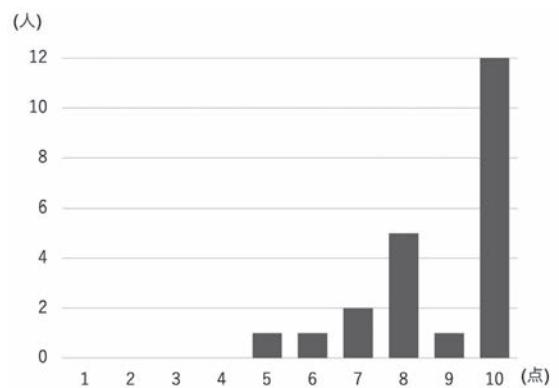


Fig.3 トレーニングプログラムの10段階評価

2. 告示研修のうち基礎研修受講率の修了率は83%、受講中13%、未受講4%であった。実技研修受講率の修了率は54%、未受講42%であった。院内トレーニング実施前のグラフは診療放射線技師歴別に色分けしており、院内トレーニング実施前の積極度は6点が最も高い値を示し、技師歴が長くなるにつれて低い値を示した。不安度は技師歴に関係なく10点が最も高い値を示した。先行して静脈路確保業務を開始した3名の技師の院内トレーニング実施後の積極度は全員10点に変化したが、不安度はほとんど変化しなかった。（Fig.4-9）

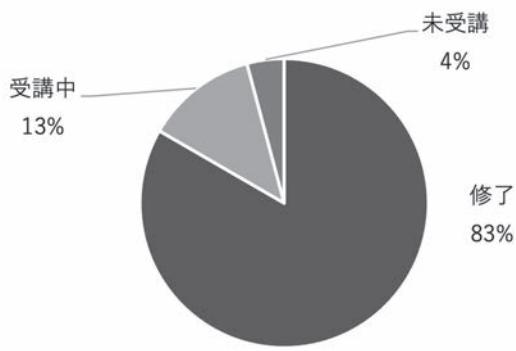


Fig.4 基礎講習受講率

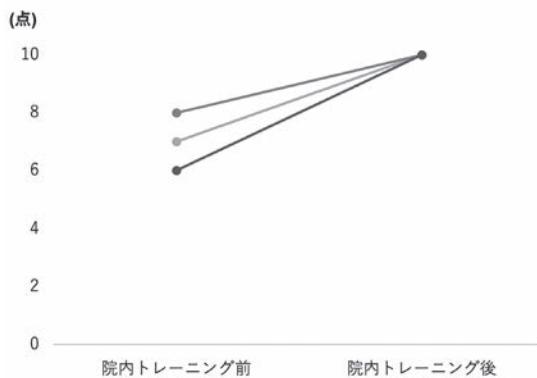


Fig.8 院内トレーニング実施前後の積極度比較

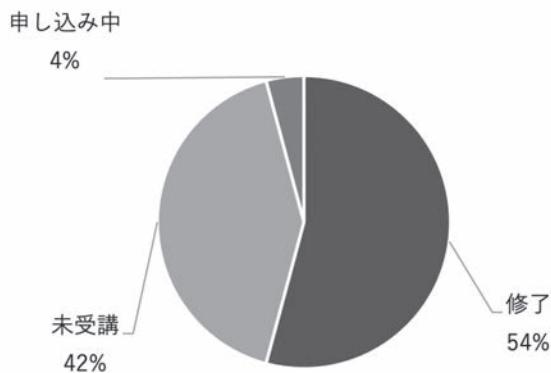


Fig.5 実技研修受講率

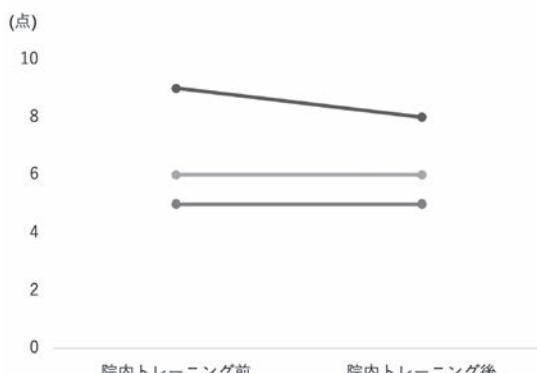


Fig.9 院内トレーニング実施前後の不安度比較

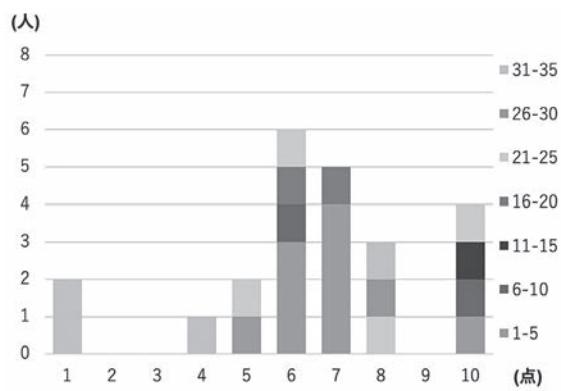


Fig.6 院内トレーニング実施前の積極度

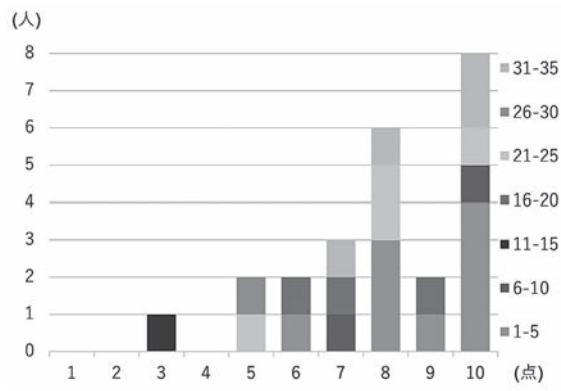


Fig.7 院内トレーニング実施前の不安度

## 考 察

全てのマニュアルで高評価となったのはタスク・シフト／シェアについて、いつ、どのように取り組むか漠然としていたが、規定やフロー、トレーニングなどの環境が整備されたことでスタッフの理解が深まったからであると考えられる。しかし院内トレーニング実施前にアンケートを集計したため静脈路確保の手技についての評価が難しかったとの意見もあった。(Fig.1-3)

告示研修のうち実技研修の未受講率が高かったのは個人の受講意欲だけでなく、東京都における講習会への応募率が高く、受講機会が得にくくことも一因であると考えられる。調査結果でも受講申込中やタイミングを見ているとの意見があった。また、日本診療放射線技師会員でないために受講費用が高くなり受講していない者もいた。施設によって、補助の有無があると聞いており、これらの要因が実技研修受講率に影響していると考えられる。しかし、2024年3月以降の大学卒業者は養育プログラム内に研修が組み込まれているので、今後は研修が受けやすい環境になっていくと考えられる。(Fig.5)

院内トレーニング実施前の積極度のばらつきは新業務に対しての受け止め方がさまざまであるためだと考えられる。また、診療放射線技師歴が長いほど消極的である理由として加齢による視力低下や持病、変化を好まないと回答結果が反映されていると考えられる。

院内トレーニング実施後の積極度が高くなったのは先行して業務開始したスタッフが新事業について肯定的な人材から選定されたことが大きな要因であると考えられる。しかし不安度に変化がなかったのは静脈路確保業務を行ったことにより技術面の不安要素が増えたこと、侵襲的な手技を行うことによるストレスが増えたことが原因だと考えられる。加えて、静脈路確保に難渋した際の謝罪や説明の仕方など、接遇でもストレスが増えたからと考えられる。そのため、手技になれる、または不安度が改善するまで急速注入を行わない核医学検査から業務開始することが望ましいと考え

られる。また、積極度の高さや接遇技術を十分に習得した人員の選定と施設の状況に合わせた業務配置が望ましい。(Fig6-9)

## 結語

当院での静脈路確保業務を行うためのマニュアル作成や院内トレーニングの整備など環境面を整えることは新しい業務を開始するのに有用だった。また、スタッフの意欲や不安を把握することで導入初期の心理的安全性を担保することができた。

## 【参考文献】

- 1) Daiki S, et.al : Attempt to calculate the cost of venous access for medical radiology technicians using Time-Driven Activity-Based Costing analysis - Comparison of contrast-enhanced CT examinations before and after task shift - Journal of the Japanese Association of Radiological Technologists,vol.71no.866,pp.27-35.2024

## Image Characteristics and Clinical Application of Dual Energy CT

Kirino Shiomi<sup>1)</sup>, Hideyuki Sato<sup>1)</sup>, Yosuke Kogure<sup>1)</sup>

1) Department of Radiology, Juntendo University Hospital

### Abstract

Dual energy CT (DECT) can provide various images such as contrast enhancement image with virtual monochromatic image (VMI) and virtual non-contrast image (VNC) with material density images. In this study we will be reporting on validation of the imaging characteristics of DECT and its clinical application.

We have done experiments about 1. CT value of VMI compared with theoretical value, 2. discrimination of blood and iodine using VNC, 3. optimal image at reduced contrast and 4. image resolution.

There was a slight discrepancy in CT value between theoretical and measured values. This possibly due to the thickness of the phantom and the effect of scattered rays. It was possible to discriminate iodine and blood components precisely, from this it is considered for the evaluation of intracerebral hemorrhage after head angiography. Contrast maintains even with less iodine by using low-keV. However low-energy images have more noise due to the lack of dose, therefore image quality must be considered. In addition, DECT doesn't maintain resolution, which means SECT will be preferred for narrow blood vessels.

We have been able to use DECT more clinically by verifying its imaging characteristics.

### 背景

当院では2021年11月にdual energy scanが可能なcomputed tomography (CT) 装置が導入され、臨床に活用している。Dual energy CT (DECT) では、virtual monochromatic image (VMI) によるコントラスト強調やmaterial density image を活用した物質弁別、さらにvirtual non-contrast image (VNC)など目的に合わせた画像が取得可能である<sup>1)</sup>。

当院が使用しているCT装置は管電圧を高速に切り替えるfast kV switching方式のDECTであり、計算過程に深層学習が用いられている。臨床にDECTを活用するにあたり、画像特性を把握することは重要と考える。

### 目的

本方式によるDECTの画像特性を検証し、臨床応

用に適用した症例を報告する。

### 使用機器

CT装置はAquilion ONE PRISM Edition (canon medical systems)、評価ファントムはマルチエナジー CT ファントム(sun Nuclear)を用いた。また、直径が5 mm、3 mm、2 mm、1 mm、0.5 mm、0.3 mmの櫛型模擬血管ファントム(杏林システム)を用いた。造影剤はイオヘキソール (GEヘルスケアファーマ)、画像解析はVitrea ワークステーション (canon medical systems) を用いた。

### 方法

画像特性を検証するため、4つの検討を行った。

## 1. CT値の変化

マルチエナジーCTファントムに評価ロッド5個と空間を埋める専用ロッドを入れて撮影し、VMIによるエネルギー別のCT値の変化を評価した(Fig.1)。得られた値と計算によって求めた理論値との比較を行った。

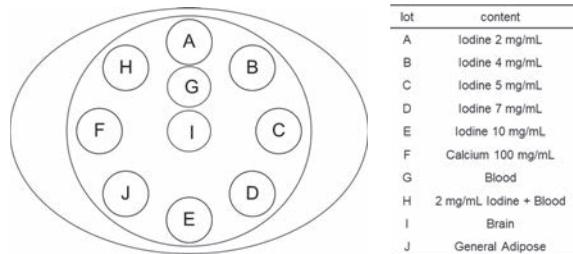


Fig.1 multi energy CT phantom(左)  
とその挿入個体ロッドの材質(右)

理論値の算出方法はNIST XCOMのウェブサイト<sup>2)</sup>から、各エネルギーにおける元素の質量減弱係数( $\mu / \rho$ )を取得し、各構成物質の $\mu / \rho$ とロッド内での割合の積の和でロッドの $\mu / \rho$ を求めた。その後、線減弱係数( $\mu$ )を $\mu / \rho$ と密度の積で求めた。同様に水の線減弱係数を求めてCT値の理論値を算出した。

## 2. ヨードと血液成分の弁別

マルチエナジーCTファントム付随のヨードロッド(2 mgI/mL)、血液ロッド(Blood 40 HU)、ヨード+血液のロッド2種類(2 mgI/mL + Blood 40 HU、4 mgI/mL + Blood 40 HU)を撮影し、VNC画像におけるCT値とヨード含有量を計測した。CT値を比較し、ヨードがしっかりと弁別され減算されているかを検証した。

## 3. 造影剤減量時の最適な画像

10 mgI/mLに希釈した希釈造影剤を作成し、同様に7 mgI/mL(造影剤3割減を想定)と5 mgI/mL(造影剤5割減を想定)のロッドを作成した。

7 mgI/mLと5 mgI/mLのロッドにおいて、10 mgI/mLが78 keV( $\approx 120$  kVp)の時と同じコントラストになるVMIのエネルギーを求めた。今回使用したDECTでは、78 keVがSECTの120 kVpと同じCT値となったためこの画像を基準とした。

## 4. 模擬血管ファントムの検証

櫛型の模擬血管ファントムに希釈造影剤を封入し、SECTとDECTで撮影した。同じコントラスト

となるDECT-VMIとSECTを比較した。

また、親血管のCT値が400 HU程度となる15 mgI/mLの希釈造影剤を封入した模擬血管ファントムの画像を基準とし、造影剤低減時(10 mgI/mL)におけるSECT低管電圧撮影とDECTの低エネルギーVMI画像の比較も行った。

## 結果

### 1. CT値の変化

結果をグラフに示す(Fig.2)。実線は実測値、点線が理論値である。100 keV以上はどの物質においてもプラトーとなつたため割愛する。理論値と実測値の差は低エネルギーになる程大きくなり、10 mgI/mLにおいて最大5%程度(実測値: 802 HU、理論値: 844 HU)であった。

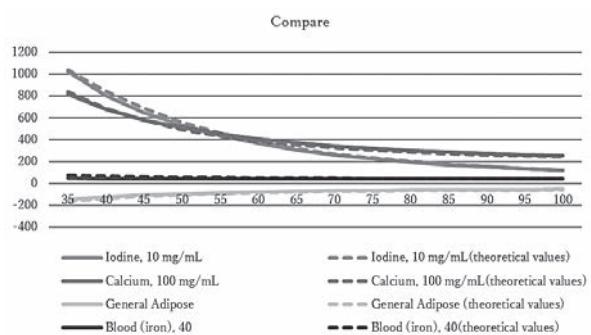


Fig.2 エネルギー別のCT値(実測値と理論値)

### 2. ヨードと血液成分の弁別

結果を表に示す(Fig.3)。VNCにすることで、ヨードのみのロッドはCT値が0 HUに近くなり、ヨード+血液のロッドはヨード成分が減算され、血液のみのロッドと同等のCT値になった。

	2 mgI/mL	2 mgI/mL + Blood	Blood	4 mgI/mL + Blood
VMI 78keV (CT value [HU])	44.61	87.43	43.29	128.39
VNC (CT value [HU])	-2.14	33.17	28.59	31.17
Iodine map (Iodine content [mg/mL])	1.88	2.27	0.39	4.24

Fig.3 各ロッドにおけるVMI 78keV、VNC、Iodine mapのCT値

### 3. 造影剤減量時の最適な画像

結果を表に示す(Fig.4)。5 mgI/mLでは57 keVにて10 mgI/mLと同じCT値が得られた。ノイズSDが13.0と高くなり、画像ノイズが多くなってしまった。7 mgI/mLでは64 keVにて10 mgI/mLと同じCT値が得られ、ノイズSDは9.0と抑えられた。

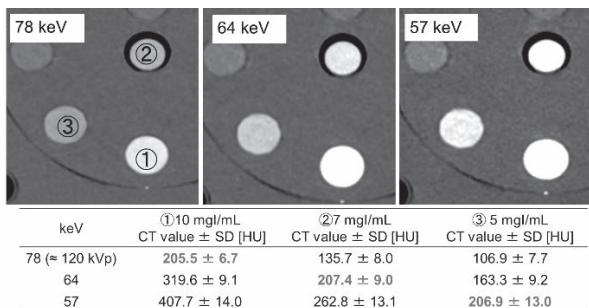


Fig. 4 エネルギー別による各種ヨードロッドのCT値変化

#### 4. 模擬血管ファントムの検証

上段にSECT、下段にDECTの画像を並べた(Fig.5)。DECTにおけるVMIよりもSECTの方が細い血管の視認がしやすかった。また、親血管を400 HUに調整した模擬血管ファントムの結果において、造影剤減量時のSECT低管電圧撮影では、減量前と同等の画像が得られているのに対し、DECTのVMIでは最も細い0.3 mm径の血管が検出できない結果となった (Fig.6)。

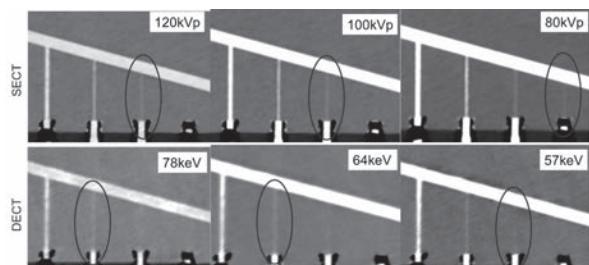


Fig. 5 SCET と DECT による模擬血管ファントムの描出能の違い

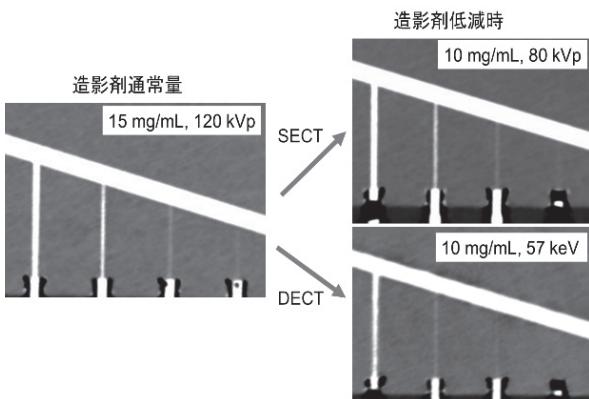


Fig. 6 造影剤低減時におけるSCETとDECTによる模擬血管ファントムの描出能の違い

#### 臨床症例

症例1は、脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血をきたした患者に対するIVR治療後の出血評価である。カテーテル治療時に造影剤を用いているため、通常の120 kVp-SECTでは脳出血なのか、造影剤の残存

なのか判断に苦慮することもあるが、DECTによるVNCを用いることで判別が可能である (Fig.7)。左はVMI、右はVNCである。VNCでは造影剤が減算されていることが分かる。

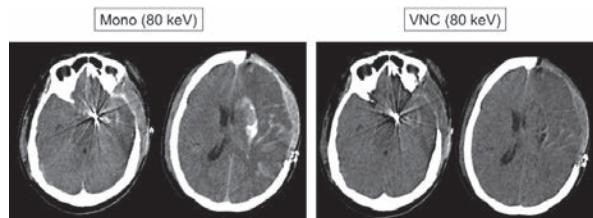


Fig. 7 症例1：頭部血管造影後の頭部出血評価

症例2は、腎機能低下症例に対する造影剤減量症例である (Fig.8)。2020年ではeGFRが52.7 mL/min/1.73m<sup>2</sup>であり、通常の造影剤量にて検査を行ったが、2022年では35.4 mL/min/1.73m<sup>2</sup>と腎機能が低下していた。そのため、放射線科医師の指示のもと、DECTを用いて7割量の造影剤にて検査を行った。造影剤を減量してもDECTのVMIを用いることで、診断に影響しない画像が得られている。

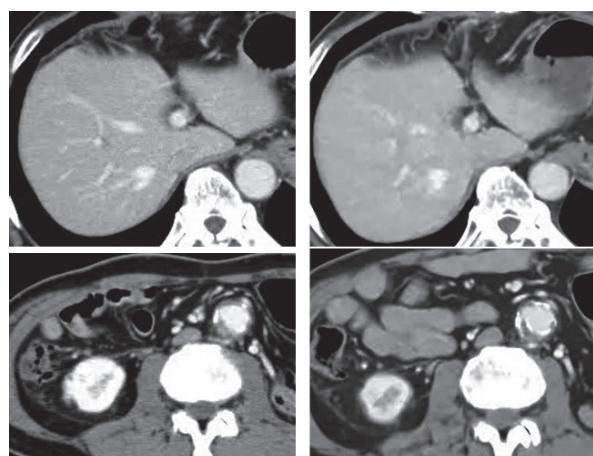


Fig. 8 症例2: 造影剤低減を行った症例画像  
2020年の画像（左2枚）と2022年の  
画像（右2枚）

#### 考 察

##### 1. CT値の変化

理論値と実測値に僅かな違いを認めた。理論値は物質を構成する組成から計算で求めたものであり、ファントムや人体にX線が照射された時に起こるビームハードニングなどの現象は考慮されていない。そのため、誤差が生まれているのだと考える。臨床に活用するためには人体の厚みを考慮したファントムで得られた値のほうが臨床的でもあると考える。

## 2. ヨードと血液成分の弁別

本実験により、ヨード造影剤と血液成分の弁別が可能かつ正確であることが分かった。これにより頭部IVR後の出血評価にDECTが有用であると考えられる。

## 3. 造影剤減量時の最適な画像

造影剤減量時にもVMIの低エネルギー画像を用いることで、減量前と同等のコントラストを得られることが分かった。腎機能が低下した患者に対し有用ではあるが、VMIのエネルギーを低くした画像では、線量不足になってしまいノイズが多くなる。そのため、臨床で用いる場合は、画質を考慮しながら活用する必要があると考える。

## 4. 分解能の検証

DECTで撮影した画像はSECTに比べ分解能が維持されず、細かい血管の評価が困難であった。今回使用したDECTはkV switching方式であるため、view数が少なくなり、さらに大焦点を使用しての撮影となってしまう。そのため分解能がSECTに比べて下がったのではないかと考える。臨床や術前で必要とされる穿通枝や細かい血管を評価する時はSECTの方が望ましいと考える<sup>3)</sup>。

## 結論

DECTの画像特性を検証することで、より臨床に適した条件にて応用することができた。

## 参考文献

- 1) Marin D, et al. State of the Art: Dual-Energy CT of the Abdomen. Radiology 2014 271:2, 327-342
- 2) NISTXCOM: Element/Compound/Mixture
- 3) Lucifero AG, et al. Microsurgical Neurovascular Anatomy of the Brain: The Anterior Circulation (Part I). Acta Biomed. 2021 Aug 26;92(S4):e2021412

## 日本診療放射線技師連盟 2025 No. 6 ニュース (通巻No.110)

### 連盟活動報告

発行日 令和7年6月30日  
発行所 日本診療放射線技師連盟  
〒381-0812  
埼玉県さいたま市北区宮原2-51-39  
TEL.048-664-2728 FAX.03-6740-1913

- ① 6月 3日(火) 松山政司参議院幹事長と面会
- ② 6月 4日(水) 第19回 国民医療推進協議会総会に出席
- ③ 6月 9日(月) JFRT主催 第12回定例勉強会開催
- ④ 6月16日(月) 第4回JFRT理事会開催
- ⑤ 6月19日(木) JFRT主催 第13回定例勉強会開催
- ⑥ 6月20日(金) あぜもと候補事務所開き
- ⑦ 6月23日(月) 参議院選挙公約に関する政策懇談会に出席
- ⑧ 6月24日(火) 福井県からあぜもとしょうごを応援する会
- ⑨ 6月25日(水) あぜもとくんを励ます会 in 静岡
- ⑩ 6月26日(木) あぜもとくんを励ます会 in 熊本
- ⑪ 6月27日(金) 全力であぜもと先生を応援する夜 宮崎
- ⑫ 6月29日(日) あぜもと将吾氏を励ます会 愛知



### 当連盟入会ならびに年会費支払い

2021年第2回理事会において、年会費は一律 2,000円となりました。  
また、寄付によるご支援も随時受け付けております。

#### 郵便局 備え付けの振込取扱票を使用してお振込みの場合

→ 口座記号・口座番号 00100-2-667669

#### ゆうちょ銀行に直接お振込みの場合

→ 店名(店番):019 当座預金 口座番号:0667669 加入者名 日本診療放射線技師連盟

# Pipe line

パイプライン

日本放射線公衆安全学会 アンケート協力依頼のご案内  
—「医療被ばく低減施設認定取得の効果に関する研究」—

日本放射線公衆安全学会 会長 佐藤 洋一



公益社団法人 日本診療放射線技師会（JART）の学術研究助成を受け、日本放射線公衆安全学会（JRPS）では、2025 年度の研究プロジェクトとして「医療被ばく低減施設認定の取得効果に関する研究」を実施いたします。本研究は、JART が推進する「医療被ばく低減施設認定制度」の取得によって、

- ・線量管理体制の整備
- ・業務の効率化
- ・患者の安心感の向上

など、医療現場にもたらされる効果を客観的に明らかにすることを目的としています。また、未認定施設が直面する課題や導入上の障壁を明らかにし、制度の改善および普及促進のための基礎資料を得ることも重要な狙いです。

この取り組みは、2004 年の制度創設から約 20 年の経過を経ての検証となり、将来的には、診療報酬制度や病院機能評価制度への反映、さらには厚生労働省への政策提言にもつながる展望を含んでおります。つきましては、全国 1,000 施設以上を対象としたアンケート調査を以下の要領で実施いたします。

ぜひご多忙の折とは存じますが、本調査の趣旨にご理解・ご賛同をいただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

#### 【アンケート実施概要】

調査期間：2025 年 8 月 1 日（金）～ 9 月 30 日（火）

回答方法： Google フォームよりご回答ください

※ URL : <https://bit.ly/3IG37vU>

※ 下記 QR コードからもアクセスいただけます。



お問い合わせ先：pub\_contact@netjrps.xsrv.jp



日本放射線公衆安全学会  
*The Japanese Society of Radiation Public Safety*

# 会員動向

2025年4月期～6月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
2024年度末集計	2,702	279	41	28	151
2025年 4月	2,742	40	6	5	1
2025年 5月	2,762	31	2	6	7
2025年 6月	2,788	26	2	1	1

診療放射線技師の人材探し・仕事探しなら！

JMB

ジャパン・メディカル・ブランチ

診療放射線技師が創立 だから…放射線技師に強い！

医療職専門！ だから…充実した人材とお仕事  
取扱職種：診療放射線技師・臨床検査技師・看護師・薬剤師 等

半日単位～正社員採用まで幅広いニーズに対応！

医療職専門の職業紹介・人材派遣 株式会社ジャパン・メディカル・ブランチ

お問い合わせ → 0120-08-5801 / info@jmb88.co.jp

（一般労働者派遣事業許可：派 13-301371 有料職業紹介許可：13-ユ-130023）



# News

9月号

日 時：2025年6月5日（木）  
19時00分～19時55分  
場 所：インターネット回線上  
出席理事：江田哲男、野口幸作、関 真一、浅沼雅康、  
鈴木雄一、木暮陽介、市川重司、石田雅彦、  
高野修彰、市川篤志、竹安直行、江積孝之、  
今尾 仁、鮎川幸司、関谷 薫、島田 諭、  
布川嘉信、大津元春  
出席監事：野田扇三郎、白木 尚  
指名出席者：増田祥代（第1地区委員長）、松田敏治（第  
4地区委員長）、北野りえ（第5地区委員長）、  
伊佐理嘉（第6地区委員長）、富丸佳一（第  
7地区委員長）、西郷洋子（第9地区委員長）、  
澤田恒久（第10地区委員長）、名古安伸（第  
11地区委員長）、吉村 良（第12地区委員長）、  
長谷川浩章（第14地区委員長）、宮下麻依  
(第15地区委員長)、桐 洋介（国際委員長）、  
中尾 愛（入会促進委員長）、笛沼和智（放  
射線相談委員長）、岩井譜憲（編集委員長）、  
村山嘉隆（総務委員）、青木 淳（総務委員）、  
新川翔太（総務委員）  
欠席理事：渡辺靖志  
欠席監事：なし  
議 長：江田哲男（会長）  
司 会：野口幸作（副会長）  
議事録作成：村山嘉隆、青木 淳、新川翔太

## 会長挨拶

本日もご多忙の中理事会にご参集いただき、感謝申し上げる。今月は6月21日に定期総会が予定されている。各地区所属の代議員の方々にお声かけをお願いしたい。本日も活発な議論をお願いしたい。

## 理事会定数確認

出席：18名、欠席：1名

## 前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

## 報告事項

### 1) 江田哲男 会長

・5月30日（金）第16地区研修会出席を追加。

### 2) 副会長

関 真一 副会長

・活動報告書に追加なし。

野口幸作 副会長

・活動報告書に追加なし。

浅沼雅康 副会長

・活動報告書に追加なし。

### 3) 業務執行理事

総務：鈴木雄一 理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：木暮陽介 理事

・活動報告書に追加なし。

教育：市川重司 理事

・活動報告書に追加なし。

### 4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

### 5) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

### 6) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

### 7) その他

・今回は特になかった。

## 議 事

### 1) 事業申請

①2025年度国際委員会学術交流テーマ：ソウル特別市

放射線士会(SRTA)との学術交流

日 時：2025年7月3日（木）～7月6日（日）

場 所：パシフィコ横浜 会議センター

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

桐 洋介 国際委員長：

2025年関東甲信越診療放射線技師学術大会のイン  
ターナショナルにおいて、SRTAから9名を招待する。

来日期間は7月3日から6日まで、インターナショナルセッションは7月5日に予定されている。経費に関しては、SRTAとの規約に則っており、合計75万円を計上している。大きい金額となっているが、昨年の学術交流と同等の金額である。ご審議をお願いしたい。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

- ②2025年度上半期インターナショナルセッション  
テーマ：2025年度関東甲信越診療放射線技師学術大会  
日 時：2025年7月5日（土）  
場 所：パシフィコ横浜 会議センター  
【承認：18名、保留：0名、否認：0名】
- ③第23回サマーセミナー  
テーマ：乳房検査の勘ドコロ  
日 時：2025年8月30日（土）15：00～17：30  
場 所：東京医科大学病院 教育研究棟（自主自学館）3階大教室  
【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

- ④第5地区研修会  
テーマ：一般撮影系の整形外科領域における立位撮影について－立位撮影の重要性について考える－  
日 時：2025年9月5日（金）19：00～20：30  
場 所：東京都診療放射線技師会研修センター  
【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

- ⑤第162回日暮里塾ワンコインセミナー  
テーマ：液体ヘリウムをまったく使わない1.5TMRIの紹介  
日 時：2025年9月18日（木）19：00～20：30  
場 所：Web開催  
【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

- ⑥第20回ペイシェントケア学術大会  
テーマ：「つながり、支え合う医療を目指して」  
日 時：2026年2月28日（土）10：00～16：30  
場 所：一橋大学一橋講堂中会議室1室から4室  
江田哲男 会長：  
前回と同様に、今回も各地区で演題提出にご協力を  
をお願いしたい。

- 市川篤志 学術委員長：  
今回も前回と同様に、演題のテーマは限局せず幅広いテーマで募集する。

- 【承認：18名、保留：0名、否認：0名】  
2) 第1回東京放射線医療技術学術大会会場予約について  
江田哲男 会長：  
JSRT東京支部と合同会議を行い、一橋講堂の予約をした。開催日は2026年11月7日・8日の2日間。大

会名は”東京放射線医療技術学術大会”と決定した。TART側の提案はJSRTで検討中。皆さまからもご意見や企画案などがありましたらご提示をしていただきたい。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

### 3) 後援名義申請について

鈴木雄一 総務委員長：

メールで緊急審議をしていただいた件である。東京都臨床工学技士会からの市民公開講座の後援名義申請依頼についてご審議いただきたい。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

### 4) 新入退会について

5月：新入会 31名、転入 2名、転出 6名、退会 7名

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

### 地区質問、意見

入会促進委員会：

新規会員獲得のため、入会促進の事業として、画像所見などについての勉強会を検討しております。事業内容として、教育委員会・学術委員会と連携が可能なのか、または、入会促進委員会で勉強会を単独で企画してもよろしいでしょうか。

市川重司 教育委員長：

特に問題はないかと思う。教育委員会と学術委員会が連携していくことが理想。具体的な内容は決まっているか？

市川篤志 学術委員長：

共同企画に関しては特に問題ないかと思う。講師などは決まっているか？

中尾 愛 入会促進委員長：

内容などは特にまだ決めていない。まずは教育委員会・学術委員会との連携がとれるか伺いたい。勉強会の内容に関して変更の予定はない。入会促進委員会で講師や内容などを決めてから教育委員会または学術委員会にお願いをする形で良いか？

市川重司 教育委員長：

スタンス的にはそれで良いと思うが、何の事業として開催するのか、すり合わせをする必要がある。新たな事業としての開催は厳しいかもしれない。今ある事業の中（きめこまかな生涯教育や日暮里塾ワンコインセミナーなど）で進めていくのが現実的。入会促進委員会でやるということは、入ってもらいたい非会員に対して積極的に参加を促す必要があるので、会費や開催方法などをどうするのかを検討が必要。懸

念材料はあるが前向きに検討したい。

木暮陽介 庶務委員長：

画像所見というところに関して、JARTでSTAT  
画像所見の取り扱いがあるので、具体的な案が出て  
きたときにタイトルやネーミングなどについてのコ  
メントをさせてもらいたい。

市川重司 教育委員長：

どのような趣旨や目的で、どのような言葉を使用  
するかなど、誤解のないように進めていきたい。

江田哲男 会長：

提案があれば、まず入会促進委員会で揉んでいた  
だき運営幹事会議に上げていただきたい。通常の勉  
強会との違いをどこに持たせるか、入会促進をする  
ための申し込み方法や集客方法などをどのようにす  
るか検討していただきたい。

#### 連絡事項

今尾 仁 厚生調査委員長：

例年実施していたボウリング大会について、参加  
者が特定されがちで若手の参加の見込を考え、本年  
度はバーベキュー開催を検討。詳細は未定で、来月  
以降の理事会で事業申請・案内予定。本年度はボウ  
リング大会を予定していない旨を周知依頼したい。

江積孝之 広報委員長：

5月17日に第23回看護フェスタが無事終了。参加  
者は67名。NHKのニュースで取り上げられ、東京都  
診療放射線技師会のブースも放送された。看護協会理  
事が趣旨や参加団体についてインタビューを受けた。  
来年度も継続開催するのでご協力をお願いしたい。

桐 洋介 国際委員長：

7月5日に横浜でインターナショナルセッション開

催、6月19日にワンコインセミナーを開催する。国際  
委員会の成り立ちや今後の課題についてお話しさせ  
ていただくのでご参加をお願いしたい。

市川篤志 学術委員長：

7月11日にメディカルマネジメント「医療事故と保  
険の加入」をテーマにセミナーを開催する。加入メ  
リットなどを解説予定で、入会促進にもつながる内  
容なので広報の協力をお願いしたい。

江田哲男 会長：

2023年2月、日本診療放射線技師会が原子力規制  
委員会から「原子力災害医療協力機関」に指定された。  
原子力災害発生時に被災者に対して甲状腺の簡易測  
定を実施できる人材を多数配置し、全国的な対応体制  
を構築することが目的。放射線関連の知識・経験を持  
つ診療放射線技師が対象で本年度は全国5カ所で開催  
予定、東京都も含まれる。募集対象は拡大しそぎると  
受講者数が多くなりすぎるため、TART会員を中心  
にする方針。埼玉県など近県も一部対象となる可能  
性はある。研修費(受講料)は全て無料。詳細は未定で、  
決まり次第報告する。

#### 今後の予定について（総務委員会）

本日はJARTの代議員大会開催。翌週はJART定  
時総会。15日はフレッシャーズセミナー。19日は第  
161回日暮里塾ワンコインセミナー。21日はAP秋葉  
原でTART定期総会を14時から開催する。会場設営  
などはないが、準備や集合のご連絡をお早めにした  
い。6月26日は専門部委員会。7月3日は第4回理事会。  
8月は理事会がないので研修会や事業申請は早めの申  
請をお願いしたい。

以上

# News

9月号

日 時：2025年7月3日（木）  
19時00分～20時15分  
場 所：インターネット回線上  
出席理事：江田哲男、野口幸作、関 真一、浅沼雅康、  
鈴木雄一、木暮陽介、市川重司、石田雅彦、  
高野修彰、市川篤志、竹安直行、江積孝之、  
今尾 仁、渡辺靖志、鮎川幸司、関谷 薫、  
島田 謙、布川嘉信、大津元春  
出席監事：野田扇三郎、白木 尚  
指名出席者：増田祥代（第1地区委員長）、松田敏治（第  
4地区委員長）、北野りえ（第5地区委員長）、  
伊佐理嘉（第6地区委員長）、富丸佳一（第  
7地区委員長）、西郷洋子（第9地区委員長）、  
名古安伸（第11地区委員長）、吉村 良（第  
12地区委員長）、長谷川浩章（第14地区委員  
長）、宮下麻依（第15地区委員長）、桐 洋  
介（国際委員長）、中尾 愛（入会促進委員長）、  
岩井譜憲（編集委員長）、村山嘉隆（総務委員）、  
青木 淳（総務委員）、新川翔太（総務委員）  
欠席理事：なし  
欠席監事：なし  
議 長：江田哲男（会長）  
司 会：浅沼雅康（副会長）  
議事録作成：村山嘉隆、青木 淳、新川翔太

## 会長挨拶

本日もご多忙の中理事会にご参集いただき、感謝申し上げる。私と野口副会長はJARTの事務所から参加させていただいている。本日もよろしくお願いする。

## 理事会定数確認

出席：19名、欠席：0名

## 前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

## 報告事項

### 1) 江田哲男 会長

・6月19日に日本医療科学大学において例年同様、特別講義を行った。

### 2) 副会長

関 真一 副会長

・活動報告書に追加なし。

野口幸作 副会長

・Zoom契約状況

東京都診療放射線技師会では、Zoomを3契約（本部用・支部用・専門部用）している。

支部・専門部は「Zoomプロ（100人まで）」、本部は「Zoomプロ+ウェビナー500人」を契約。以前は「ラージミーティング（500人）」も契約していたが、ウェビナー500人と重複するため、ラージミーティング契約

を廃止し経費削減を実施。

- ・Zoom プロ : 33,000円（支部・専門部・本部それぞれ）
- ・ウェビナー : 151,800円（本部）
- ・年間合計 : 約250,000円

500人規模のウェビナーは本部で一括管理し、支部や地区で100人を超える場合は本部に相談の上、対応する。貸し出しではなく、本部側でアドレスを作成・オープンする形で運用。

浅沼雅康 副会長

・活動報告書に追加なし。

### 3) 業務執行理事

総務：鈴木雄一 理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：木暮陽介 理事

・活動報告書に追加なし。

・日本診療放射線技師会第88回定時総会への出席記載について相談があった。江田会長より、「総会・理事会等の大きな会議については、東京都推薦の全国理事として活動しているため記載してもよい」との見解が示され、今後も同様の方針で進めることが合意された。

教育：市川重司 理事

・活動報告書に追加なし。

### 4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

### 5) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

- 6) 各委員会報告
  - ・活動報告書に追加なし。
- 7) その他
  - ・今回は特になかった。

## 議　事

### 1) 事業申請

#### ①親睦BBQ大会

日 時：2025年9月28日（日）11：00～14：00  
場 所：池袋 楽園タウンの庭  
・会費は5,500円、募集開始は9月号からホームページにも掲載予定。天候については「屋根付きのため、よほど荒天でなければ実施可能」との説明。従来の地区対抗ボウリング大会から、地区の交流を深める目的でBBQ大会に変更。家族参加も検討されたが、人數把握が難しいため今回は会員・非会員のみ対象。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

#### ②第163回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：放射線相談委員会共同企画

－放射線相談の基本の「き」－

日 時：2025年11月14日（金）18：30～20：00

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

HPの締め切りは、2025年11月13日（木）に変更する。

#### ③第3地区研修会

テーマ：学ぼう！腎・副腎疾患

－各モダリティのアプローチ－

日 時：2025年11月28日（金）19：00～20：30

場 所：東京医科大学病院 第一研究教育棟3階第一講堂

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

#### ・参加申込・受付方法の運用方針と案内文言について

事前申込制を基本としつつ、当日参加も可能とする運用が過去に行われていた。

コロナ禍で当日参加受付が一時的に消滅したが、反対意見があったわけではない。

参加人数の把握や会場設営のため、できるだけ事前登録を促す方針。

案内文言については、過去の事例を参考にしつつ、簡潔な表現でまとめる方針で合意。

案内文の定型化についても今後の課題として認識。

参加者が混乱しないよう、締切日や受付方法を統一・明確化する必要性が指摘された。

会場が広い場合は特に問題がないとの意見もあり、現状ではオープンな受付体制が望ましいとの認識で一致。

### 2) 東京都への事業変更申請について

野口幸作 副会長：

東京都診療放射線技師会で行っている事業内容に関して、付け加える形で文言の修正を行った。また、厚生調査委員会の事業内容に関しても文言の修正を行った。ご審議をお願いしたい。

高野修彰 渉外委員長：

モダリティ別の文言は削除してもよいのではないか。今後、第3地区研修会のように疾患ごとの領域で研修会等を行う可能性があるので、モダリティで限定する必要はないのではないか。

市川重司 教育委員長：

「選択的かつ集中的に講習会を開催するために」の文言も削除してよいのではないか。

鈴木雄一 総務委員長：

講習会名は記載せず、赤字の部分を「講習会など」のみにしてもよいのではないか。

関 真一 副会長：

講習会名は残した方がよいのではないか。

市川重司 教育委員長：

「認定（養成）、集中、実践講習会」を包括するように、実践集中講習会という文言に修正するのはいかがか。

野口幸作 副会長：

現在はMRI集中講習会となっているので、今後はMRIだけでなく、X線撮影やCTも実践集中講習会という名称に統一するという認識で良いのか。

市川重司 教育委員長：

今後は実践集中講習会という名称で統一する。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

### 3) 新入退会について

6月：新入会 26名、転入 2名、転出 1名、退会 1名

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

江田哲男 会長：

新卒で入会した方が現在19名であるが、例年と比較すると少ない。今年度新卒の方は、告示研修のカリキュラムを養成学校で修了しているためであると考えられる。この傾向は全国的にも起きている状況である。各職場においても、新卒で入職した方々に対して、技師会が魅力的な団体であることを引き続き広報していただきたい。

## 地区質問、意見

第6地区：

勉強会の案内をプリントにて告知している施設が

ある。最近の勉強会はQRコードで簡便に申し込みができる様になっている。東放技の研修会案内もHPからQRコード付きのPDFにて出力する事ができる様になるとプリント掲示で施設のスタッフに案内が容易になり、また申し込みも簡単になって会員、非会員に関わらず告知できる様になると考えるが、検討いただけないか。

竹安直行 情報委員長：

PDFに関しては、リーフレットのような形式であればよいのか。

伊佐理嘉 第6地区委員長：

会誌がPDF形式で出力できればよいと思う。さらに、会誌の中にもQRコードが掲載できれば申し込みしやすいのではないか。

竹安直行 情報委員長：

QRコードに関しては、研修会の申し込みフォームにリンクすればよいのか。

伊佐理嘉 第6地区委員長：

そのほうが良いと考える。

竹安直行 情報委員長：

現状、皆さまから事業申請書をいただいてからホームページを作成し、その後QRコードを作成する。この場合、QRコードを会誌に掲載することが時間的に間に合わない可能性がある。岩井編集委員長とどの段階でQRコードを形成できるのか、現在検討中である。PDF出力に関しては、別途改修が必要となるため、実現は難しいと考えている。

伊佐理嘉 第6地区委員長：

例えば、研修会のホームページを印刷した際に、QRコードも掲載することは可能でしょうか。

竹安直行 情報委員長：

現在のホームページを印刷する際は、A4サイズのままで印刷される仕組みにはなっておらず、80%程度に縮小しないと網羅して印刷はできない状況である。何回かテストを行い、前向きに検討させていただきたい。

## 連絡事項

市川重司 教育委員長：

フレッシャーズ、ワンコインセミナーは2回にわたり130名以上が参加し盛況であった。来年度は運営役員のシャッフルや新教材作成を検討し、ワンコイン

セミナーとして新たな形で実施予定。

市川篤志 学術委員長：

メディカルマネジメント講習会、きめこまやかな生涯教育が開催されるので広報をお願いする。

竹安直行 情報委員長：

第1地区の勉強会の参加可能定員を増やし、再申し込み可能になっている。広報をお願いする。

桐 洋介 特別委員長：

関東甲信越学術大会が横浜で開催される。7月5日(土)にインターナショナルセッションがあるのでご参加をお願いする。

中尾 愛 入会促進委員長：

第4地区でのリーフレットの配布を感謝する。今後もご協力をお願いする。

江田哲男 会長：

今週末に関東甲信越学術大会が開催される。関東甲信越役員会議の議題として、学術大会のスリム化(現行3日間→2日間開催への提案)が審議事項となっている。2日間開催に関する意見(賛否、希望内容)を求められている。本会からは、ウィークデーの開催、参加費の減額、シンポジウムや教育を重視したイベントとして多くのセッションが必要なのでポスターセッションの提案等を考えている。

予算について、昨年度は約500万円の赤字であった。主な理由は4つ。①コロナ収束によって活発に事業や会議が展開されたこと。②会議の出席率が高くなった(約190万円増)③会誌の印刷製本・発送関係費用の値上がり(約110万円増)④入会促進で140名の会員が増えたが、その分の収入がなかったこと。本会では支出の削減を実施する。通信雑費を中心に見直しを考えている。次回の理事会で改めて過去データを提示して説明予定。

## 今後の予定について(総務委員会)

関東甲信越学術大会、メディカルマネジメント講習会、きめこまやかな生涯教育、実践X線講習会、城東支部研修会、第1地区研修会を開催予定。

8月の理事会開催はないが、7月に専門部委員会が開催される。7月中に質問や委員会報告があれば遠慮なく。

以上

# 東 放 見 聞 錄

## 働く技師に必要な「お金の教養」——3つの視点

### はじめに

診療放射線技師として、日々臨床の現場でご活躍されている皆さまは、多忙かつ責任の重い業務に従事しながら、医療チームの一員として重要な役割を担っておられることと思います。

たとえば——

「午前中に急な検査依頼が集中し、予定していた業務が大幅に変更された」  
「退勤直前に緊急検査があり、結果的に残業となった」

こうした突発的な事態は、臨床現場では決して珍しくありません。時間的・心理的な負荷が大きいなかで、自身の生活設計や将来への備えについて考える余裕が持ちにくいというのも、多くの技師が抱える実感ではないでしょうか。

しかし、だからこそ身につけておきたいのが、「お金の教養（ファイナンシャル・リテラシー）」です。これは、専門職として安定したキャリアを築いていく上での、もうひとつの“基盤”とも言えるものです。

本稿では、診療放射線技師として働く皆さまに向けて、日常の延長線上で実践できる「お金の教養」を、3つの視点からご紹介します。

### ①「現在の生活」と「将来の備え」を分けて考える

仕事後の食事、休日の趣味、ちょっとしたご褒美の買い物——  
こうした支出は心身のバランスを保つためにも必要なものです。

一方で、それとは別に「将来の自分を支えるお金」を意識的に確保していくことも、非常に重要です。

たとえば、毎月の給与から1,000円～3,000円程度を別口座に自動的に振り分けるだけでも、将来への安心感や選択肢につながります。重要なのは金額の大小よりも、「目的ごとに分けて管理する」という習慣そのものです。

このように支出を性質で分けることは、長くキャリアを続けていく上でも大きな支えになります。

### ②固定費の見直しを「年に一度の点検習慣」に

通信費、サブスクリプションサービス、保険料などの固定費は、一度契約すると見直しを忘れがちです。

しかし、こうした定常的な支出こそ、意識的に点検することで家計の柔軟性が高まります。

たとえば、利用していないサービスの解約や、料金プランの見直しによって、月に2,000～3,000円の節約ができるれば、年間で数万円の余裕が生まれます。

この点検は毎月行う必要はありません。誕生月や年始など、自分の中で決めた「年に一度の家計点検日」を設けておくだけでも十分です。

医療従事者が定期的に健康診断を受けるように、お金についても定期的な“点検”を取り入れることが、長期的な安定につながります。

### ③制度を「知っている」だけでも選択肢が広がる

最近よく耳にする「NISA」や「iDeCo」といった制度も、将来への備えとして非常に有効です。

・NISA（少額投資非課税制度）：一定の非課税枠内で投資信託などの資産運用が可能。2024年からの新制度でさらに使いやすくなりました。

・iDeCo（個人型確定拠出年金）：老後資金を積み立てながら、掛金が所得控除となり、節税効果も得られます。

どちらも「自分に合ったタイミングと内容で活用できる」柔軟性のある制度です。

すぐに始めなくても構いません。まずは「制度の存在を知り、概要を理解しておく」こと。それだけでも、将来に対する選択肢が広がります。

### おわりに——専門職の人生を支える「経済的な備え」

診療放射線技師という仕事は、高度な専門性を要する一方で、心身の負担も大きく、キャリアの歩み方も人それぞれです。

そのような職業的特徴をふまえると、「お金」との向き合い方は、単なる家計管理を超えて、人生を安定させるための基盤となります。

今回ご紹介した3つの視点——

・支出を「現在」と「将来」に分けて管理する  
・固定費の点検を「年に一度の習慣」とする

・制度を知ることで選択肢を広げる

これらを無理のない範囲で取り入れることが、自然なかたちで将来への備えとなります。

「あとで考える」のではなく、「今できることから少しづつ」。  
それが、現場で忙しく働く技師の皆さまにとって、最善の“備え”になるはずです。

文・マネラジ

## 学術講演会・研修会等の開催予定

日時や会場等の詳細につきましては、会誌及びホームページでご案内しますので必ず確認してください。

### 2025年度

#### 1. 学術研修会

☆第23回ウインターセミナー 未定

#### 2. 生涯教育

#### ☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第162回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催 2025年9月18日(木)

第163回日暮里塾ワンコインセミナー 2025年11月14日(金)

#### 4. 専門部委員会研修会

第20回ペイシェントケア学術大会 2026年2月28日(土)

災害対策委員会研修会 未定

#### 5. 集中講習会

第14回MRI集中講習会 未定

2025年度実践集中講習会－CT装置・検査－ 2025年9月21日(日)

#### ☆6. 支部研修会

城北支部研修会 2025年10月24日(金)

城西・城南・多摩支部研修会 未定

#### 7. 地区研修会

2025年度第5地区研修会 2025年9月5日(金)

2025年度第2地区研修会 Web開催 2025年9月9日(火)

2025年度第3地区研修会 Web開催 2025年11月28日(金)

#### ☆8. 第25回東放技・東京支部合同学術講演会

未定

#### 9. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動 未定

#### 10. 東放技参加 行政祭り等

未定

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

# 技師会に入るなら今がチャンス!!

## 新入会無料キャンペーン

### 令和8年度まで延長決定!!

東京都診療放射線技師会費

新卒・既卒問わず

入会費5,000円

▶ 0円

しかも

技師免許取得年度に入会すると…

日本診療放射線技師会 (JART) 入会費

入会金5,000円+初年度会費14,000円も0円

技師会に入ると何ができる?

- ・付帯保険に加入出来る
- ・会誌が定期的に届く
- ・会員価格で勉強会に参加できる

まだまだ情報が沢山! 詳細はこちら→

 公益社団法人 東京都診療放射線技師会



# 公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	年 月 日( ) ~ 月 日( )	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [ ] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [ ] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 [ ]	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

**FAX 03-3806-7724**  
**公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所**

# Postscript

まだ暑い日が続いますが、皆さんいかがお過ごですか？この夏も話題には事欠きませんでしたが、私が印象に残ったことの1つは「劇場版『鬼滅の刃』無限城編 第一章 猫喰座再来」の圧倒的なクオリティです。史上最速で国内の興行収入を塗り替え、未曾有の大ヒットとなっています。実は、私は今年に入って「鬼滅の刃」という作品を見始めた超初心者です(笑)。ゴールデンウィークに「たまたま」目にしたのをきっかけに、現在どっぷりと浸かっております。

私が「鬼滅の刃」に魅了される理由の1つは、作中における登場人物たちのバックグラウンドの描写です。人も鬼もこれが実に人間臭く、どんどん引き込まれていきます。登場人物それぞれが悲しい過去だったり、コンプレックスだったりと弱さを持っていて、他人に知られたくない部分が丁寧に描出されているので、ストーリーについて感情移入してしまいます。

もう1つの魅力は、勸善懲惡のストーリーにありがちな「絶対的最強ヒーロー」が存在しない、ということでしょうか。主人公は、初めは炭焼き屋のただの子供で、戦うすべを知りません。「鬼殺隊」最高ランクと尊敬される「柱（はしら）」たちもそれぞれが常に不安や悩みを抱えて

いたり、得手不得手があったりと、1人で何でもできるわけではありません。ピンチになった時に、1人で全てを解決してくれる絶対的なヒーローは出てきません。それどころか、人は鬼と違うから当然ケガをすれば治りづらいし、腕がなくなれば戻らないし、死んでしまったら生き返らない。こういうリアルな描写が現実社会とリンクし、とても親近感を覚える作品になっているのではないでしょうか。

「鬼滅の刃」では数々の名言が生まれ、その言葉もまた人を惹きつける魅力の1つ。最後に、私の好きな言葉をいくつか。「考えろ考えろ。自分にできる最大限のことを」「お館様から預かった隊士を、俺ところで潰すわけにはいかねえからな」「できるできないじゃない。やらなきゃならないことがある」「強い者は弱い者を助け守る。そして弱い者は強くなり、また自分より弱い者を助け守る。これが自然の摂理だ」などなど。意外と、現代社会で、職場で使っても自然に聞こえる言葉たちではありませんか？まだご覧になられたことのない方は、漫画からでもアニメからでも結構です。これから秋の夜長、ご覧になってみてはいかがでしょうか。

（鋼柱）

## ■ 広告掲載社

富士フィルムメディカル（株）  
キヤノンメディカルシステムズ（株）  
(株)ジャパン・メディカル・プランチ  
日本メジフィジックス（株）  
長瀬ランダウア（株）  
シーメンスヘルスケア（株）

## 東京放射線 第72巻 第8号

令和7年8月25日 印刷（毎月1回1日発行）

令和7年9月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505  
〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 江田哲男

振替口座 00190-0-112644

電話 東京（03）3806-7724 <https://www.tart.jp/>

印刷・製本 株式会社キタジマ

事務所 執務時間 月曜～金曜 8時30分～16時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません

TEL・FAX （03）3806-7724

## 編集スタッフ

岩井譜憲

森 美加

田沼征一

志田晃一

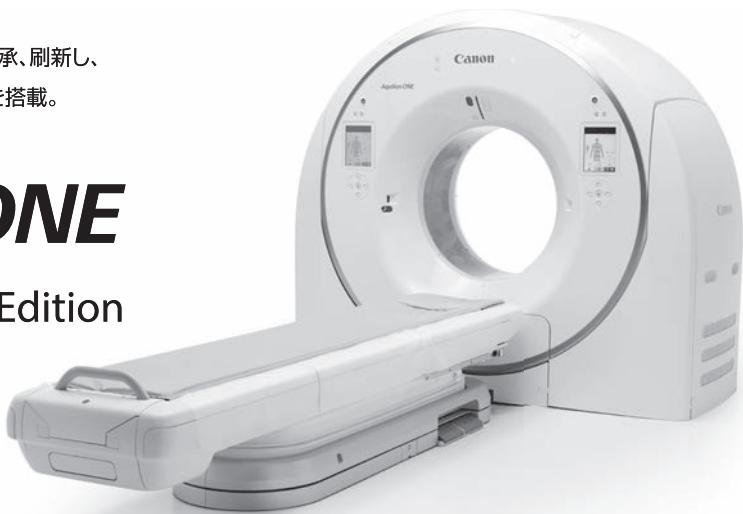
浅沼雅康  
(担当副会長)

# Canon

## 医療の本質を見抜く、High Resolution ADCT。

Area Detector CT「Aquilion ONE」と、  
高精細 CT「Aquilion Precision」で培った技術を継承、刷新し、  
超解像画像再構成技術とAIを活用した自動化技術<sup>※1</sup>を搭載。

## Aquilion ONE INSIGHT Edition



※1 自動化技術：設計の段階で AI 技術を使用しており、本システムは自己学習機能を有していません。

[一般的な名称] 全身用X線CT診断装置 [販売名] CTスキャナ Aquilion ONE TSX-308A [認証番号] 305ACBZX00005000

B000893

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life

## 新型ハイブリッドサーベイメータ RaySafe 452

**FLUKE**  
— Biomedical —



半導体とGM管を組み合わせ、  
1台で様々な測定用途に対応可能！

As versatile as you are

**FLUKE**  
— Biomedical —

**LANDAUER**<sup>®</sup>

 **RaySafe™**

**VICTOREEN**

【お問い合わせ】  **長瀬ランダウア株式会社 営業部**

TEL:029-839-3322 FAX:029-836-8441  
mail:nagase-landauer.co.jp  
<https://www.nagase-landauer.co.jp/>



【製品情報】 **フルーケバイオメディカル**

[https://www.flukebiomedical.com/  
products/radiation-measurement/  
radiation-safety](https://www.flukebiomedical.com/products/radiation-measurement/radiation-safety)



**FUJIFILM**  
Value from Innovation

# 液体ヘリウムを まったく使わない 超電導MRI

専用の冷却機構を持ったZeroHeliumマグネットと  
磁場コントロールシステム“ZeroHeliumテクノロジー”を採用。  
液体ヘリウムをまったく使用せず、極低温状態を維持します。  
液体ヘリウムによるクエンチ爆発※は発生しません。

「ZeroHelium」で吸着事故や災害時への不安、  
復旧にかかる時間とコストの低減へ。



## ECHELON Smart ZeroHelium

REiLI

※超電導状態を失った時の爆発的なヘリウムの放出を表現しています

製造販売業者  
**富士フィルム株式会社**

販売業者  
**富士フィルムメディカル株式会社**

〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フィルム西麻布ビル  
[fujifilm.com/fms/](http://fujifilm.com/fms/)

販売名：MRイメージング装置 ECHELON Smart 認証番号：229ABBZX00028000

●FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フィルム株式会社の登録商標または商標です。●この広告に記載されている会社名、商品名は、富士フィルム株式会社またはグループ会社の商標または登録商標です。●ECHELON Smart ZeroHeliumはZeroHeliumマグネットを搭載したモデルの呼称です。●仕様および外観は予告なく変更されることがあります。●本製品では一部再生資源を使用する場合があります。

〒二六〇〇三  
荒川区西日暮里二一二二一五〇  
発行所  
公益社団法人 東京都診療放射線技師会  
TEL・FAX(03)3806-7724

印刷所

東京都墨田区立川二十一  
株式会社 キタジマ

定価

金四二〇円（税込）